



足利市議会議員

大谷やよい

いつも元気でおせっかい

あししぎ・あしあと

● ごあいさつ



令和元年10月12日土曜日、災害に強いと言われていた足利市も、台風19号の影響で、水害による被害が多発し、被害総額約88億円、人的被害3名、土砂崩れ38件、住宅被害等747件(11月1日現在)の被害を受けました。

被災された皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。被災直後から、自衛隊はもとより、栃木県野木町や神奈川県横浜市、姉妹都市である鎌倉市からも職員を派遣していただきました。

また、足利市社会福祉協議会では、10月16日より災害ボランティアセンターを立ち上げ、1,374名(11月1日現在)のボランティアにお世話になりました。

さらに、ふるさと足利応援寄附金には、155件、約570万円、災害支援の義援金として、31件230万円(11月1日現在)全国からご支援いただいています。

私も、自治会長さんにもお世話になりながら、被災状況の現地調査や被災状況を市へ情報提供しました。

今言えるのは、やはり、地域コミュニティが重要であることと、町内一斉避難訓練を始めとした自主防災会単位の「地区防災計画」の策定です。今回の経験を活かし、今後も災害に強い足利市を目指して、皆さんと一緒に活動して参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。

最後に、本来であれば、10月に毎年発行していたこの活動報告書ですが、災害対応に追われ発行が1ヶ月遅れてしまったことをお詫びいたします。

● 令和元年第3回市議会定例会 9月議会(決算議会) 8月30日(金)～9月24日(火)

9月10日(火)13時15分より、15度目となる一般質問を行いました。今回は、寄附をきっかけとした街づくり・プラスチックごみ対策・太陽光パネル、高齢化社会における救急要請について質問しました。

具体的な内容は、以下の通りです。

1 寄附のしやすい環境づくり

(1) 寄附文化の醸成

私は、寄附のもつ効果には、社会の課題解決が自分にとって身近になるとともに、自分の行動が社会貢献につながるという喜びを享受でき、寄附を行う側、寄附を募る側、それぞれにとって意義のある効果をもたらすと考えているが、個人寄附のもつ効果については、どのように捉えているのか。

本市では、「こども夢基金」をこどもの6月に創設した。こども夢基金は未来を担う夢を持った子供たちの健やかな成長に資する事業への財源に充てるものであり、寄附に賛同いただける方も多いと考えている。誰もが寄附しやすい環境を身近に整えることはできないか。

(2) クラウドファンディング型ふるさと納税

平成23年に地方自治法が一部改正され、第三者が自治体に代わって自治体で利用する資金を集めることが可能となった。

「クラウドファンディング型ふるさと納税」とは、自治体のプロジェクトに対して小口の寄附を集める際に使われるサービス。多くの自治体でも活用され始めたクラウドファンディング型ふるさと納税について、どのように捉えているのか。

2 環境政策について

(1) プラスチックごみ対策

ことし6月に開催された20カ国・地域首脳会議(G20)では、主要議題の一つとして「海洋プラスチックごみ問題」を取り上げた。

さらに、5月には、環境省が「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」を策定し、ポイ捨て禁止条例などの違反の監視取締り等

をあげている。

本市で平成7年に策定された「空き缶等のポイ捨て防止に関する条例」を見直す時期と考えるがどうか。

(2) 再生可能エネルギー発電設備設置

平成29年4月から施行された「足利市自然環境、景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」の許可制度が始まり、事業区域の面積が1,000平方メートル以上の設置事業を行う場合には届出が必要となり、保全地区では許可が必要となった。条例を制定し約2年が経過したが、その効果について伺う。

事業用発電の固定買取価格の引き下げ等による事業者の経営悪化や倒産などにより、設備が適正に管理されない状態になることや放置されることが危惧されている。

その対策として、他の自治体では独自の条例を制定することで、そうした事態に備える動きもあるが、本市はどうか。

3 消防行政について

(1) 救急業務のあり方

救急隊は救命を役割とし、心配停止状態の傷病者については速やかに心肺蘇生を実施することを基本に活動している。

このような中、総務省消防庁では、「平成30年度救急業務のあり方に関する検討会」において、「心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する実態調査」を実施し調査結果をみると、傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施については、多くの消防本部において課題と認識されたようだが、本市ではどのように捉えているのか。

(2) 消防の連携・協力の推進

複雑化・多様化する災害や高齢化を背景として救急需要が増大する中、今後も持続可能な消防本部体制を整備・確立していく必要がある。

平成29年3月、消防審議会にて示された「消防の広域化及び消防の連携・協力に関する答申」にあるように、消防事務の性質に応じて事務の一部について連携・協力を推進することが必要であると考えますが、どうか。

傍聴にきませんか？

次回、令和元年第4回市議会定例会(予定)は、11月29日(金)～12月20日(金)

一般質問は、12月9日(月)、10日(火)、11日(水)10時～

足利市役所3階 議場にて傍聴できます。

上記は、あくまでも予定です。詳細は、足利市議会ホームページ等でご確認ください。お待ちしております。

インターネット中継が
始まりました！



スマートフォンで視聴
左記の二次元コードを
読み取ると、スマート
フォンから議会中継が
ご利用になれます。

● これまでの主な活動 (令和元年7月～9月)

● 7月3日(水)～5日(金)

市町村議会議員研修会「社会保障・社会福祉」@大津市

● 7月8日(月) しゃんしゃん広場開設12周年新築御披露目会

しらゆり幼稚園の園舎の一角にある『しゃんしゃん広場』には、保護者に寄り添うことが自然に出来るスタッフが揃っており、「育児アドバイスを伝える前に気持ちに寄り添う。時には、一緒に涙するスタッフもいる」岡島代表からのご挨拶を聞いて、涙がこぼれそうになりました。



しゃんしゃん広場御披露目会

● 7月20日(土) 足利市水処理センター施設公開

● 7月29日(月)～30日(火)

市町村議員研修「自治体予算を考える」@大津市

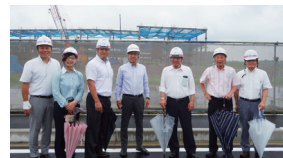
● 8月1日(木)・2日(金)

全国地方議員サミット2019 @東京ビックサイト

「良い地域を作るには、よい市民を育てる。良い議員を育てる市民でありたい。」との市民代表者からの言葉が心に残っています。分かりやすく説明する力。聴く力。議員力を高めていくこと。議会改革とは、本当は議員の意識改革なのです。



地方議員サミット



あがた駅南産業団地

● 8月22日(木) 新市場とあがた駅南新産業団地 現地視察

● 8月26日(月)～25日(火) 札幌市・旭川市 視察

旭川市では、市役所新庁舎建設について。平成23年から検討委員会を発足させ、今は基本計画を策定している状況です。札幌市では、暫定施設として造られたカナモトホールと市長居肝いりの市民交流館と、対照的な市民ホールを視察しました。



札幌市「市民交流館」



敬老会

● 9月11日(水)・12日(木)・17日(火)・18日(水) 北郷地区敬老会

令和最初の敬老会です。おめでとうございます。

● 9月15日(日) 駐在所と交番の統合と交番の受持区の再編説明会

有楽町交番と利保町駐在所、大月町駐在所が統合して、仮称利保町交番新設のための説明会。令和3年を目指し、新設したいとの説明がありました。



キッズカーニバル

● 9月22日(日) 第6回 キッズカーニバル in 足利

会場となった五十部運動公園では、渋谷のスクランブル交差点のオープンセットで撮影が行われる中、サッカーを楽しむ子供たちがいました。



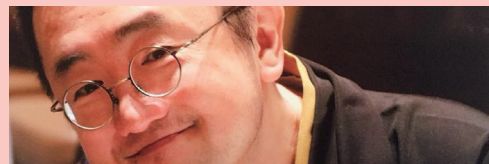
わたらせ健幸緑地

● 9月29日(日) 朝倉福富緑地 完成記念式典

野球場・サッカー場に加え、ウォーキングコースも新設され、愛称は、わたらせ健幸緑地に決まりました。

市政報告会を開催します！

★ 令和2年2月9日(日) 午後
今年も、名草公民館で開催します。
第二部は、笑いは健幸と題して、講師に落語家の立川キウイ師匠をお招きする予定です。



こんな活動もしています！

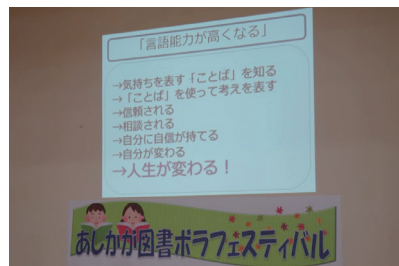
ボランティアグループあしかが子育て応援ネット「あしかがいっしょに子育てガイド 学童期編」完成 (子育て情報誌)

9月から小学校で行われる就学児健康診断の際に、お渡しできるように毎年製作しています。



あしかが学校図書館よくし隊「あしかが図書ボラフェスティバル」を開催しました。

本を読むことの大切さを広めるため、学校図書館ボランティアをしているメンバーと毎年実施しています。



お知らせ

ペーパーレス会議 始まりました！

タブレット端末に送られた資料を使い会議を進めていきます。災害時の情報提供や情報収集では、タブレット端末が大活躍しました。

